

- 会議名 令和8年度 第1回八雲町社会教育委員会議
- 日 時 令和8年6月2日（火） 午後6時30分～午後7時15分
- 場 所 八雲町公民館 第1・2集会室
- 出席委員 11名
助川剛、川端裕介、鈴木馨、小林元彦、小出政彦、前川伸也、小野礼子、
中田拓希、桶谷恵理子、田村綾子、寺田裕
- 説明員 教育長、社会教育課長、社会教育課長補佐、社会教育係長、文化財係長、
熊石教育事務所教育推進係長

*傍聴者なし

《会議録要旨》

◆開会に先立ち欠員補充委員（2名）へ委嘱状交付

- 1 開 会 社会教育課長
- 2 あいさつ 八雲町教育委員会 教育長 西田 浩人
八雲町社会教育委員 委員長 小出 政彦
- 3 委員紹介 新規委嘱した2名による自己紹介
- 4 議 題
 - (1) 令和7年度 八雲町社会教育課・熊石教育事務所所管事業実施報告並びに事業決算の概要について
 - (2) 令和7年度 八雲町社会教育委員各部会等活動報告について

○説明員から説明する。

委 員～木彫り熊初心者講座の件で、自分は参加したが、丁寧に教えていただいて、とても良かった。自分の親も参加を希望していたが、年齢制限があり参加できなかった。今後、参加できるように検討はできるか。

説 明 員～木彫り熊初心者講座については、通常の講座は後継者育成という観点で実施している。初心者講座については、木彫り熊講座に参加する1歩目という事で実施している講座であり、今は若手の方を優先して受講できるよう

にしている。木彫り熊を彫りたいというニーズに関しては、講座以外でも町内でやっている所もあるので、そういう部分も含めて考えていきたい。

委員～多くの事業を実施しているが、もう少し予算があれば、もっとできる事も増えてくるのではないかな。予算の関係で内容や参加者が窮屈な思いをしているのもあるのではないかな。予算があればもっとこういう活動ができるのにと思っている。

また、事業によっては参加者が集まりづらく、声掛けをしながら何とか開催をしている事業や、いつも同じメンバーになってしまい、形だけやっている感じになっている事業もあるのではないかな。

説明員～最初に予算の件について、これだけの事業を少ない予算の中で工夫をしながらやってきている状況である。八雲町の財政の状況から予算の増額というのは正直厳しい状況である。しかし、現状の予算の中でも、工夫をしながら、新しいものやより良い方法を考えていきたい。また、事業の参加人数についても、実績を見ていただいたとおり、あまり集まらない事業もある。実際には、委員ご指摘のとおり、声掛けをさせていただいて、何とか開催しているという状況の事業も中にはある。今後は、事業の内容についても検討し、予算が少ない中でも工夫を凝らし、皆様にご参加いただけるような事業にしていきたいと考えている。

委員～事業のチラシの作り方ももう少し工夫できないかな。文字の羅列だけではなく、何か工夫ができればいいのかなと思う。

説明員～チラシについても、目立つようにカラーで、事業の内容が目で見えて分かるように写真も載せて作成できればいいが、カラーで印刷すると費用がかかるため配布は難しい。しかし、LINEや町ホームページでのデジタル配信は可能なので、そのような方法も活用したり、新たな周知方法についても研究していきたい。

委員～社会教育委員になってから、色々な事業にも参加させていただいたが、実際に参加して自分の目で見るとよく分かるので、例えば動画を撮影してPR動画を作成するとか、こういう事やっていますよという感じで短い動画で紹介したりできないかな。今の時代、ユーチューブで情報を得るということも多くあると思うので、そのような事はできないかな。

説明員～確かに動画であれば一目で分かりやすいと思う。ユーチューブについては、郷土資料館は公式アカウントを保有しているが、社会教育課としては取得していないので、今後、そのような形で実施できるようであれば検討していきたい。ただ、社会教育事業は、そのほとんどが人が対象の事業であるため、撮影するにもプライバシーには十分な配慮が必要であると思うが、そのような新たな取組も今後検討していきたい。

- 委員～動画はユーチューブだけではなく、インスタ等も活用してもいいのでは。載せ方によっては、一定時間を経過すると自動的に削除されるものもあり、そういったツールを活用している所もある。
- 委員～恵庭市の子ども会事務局は、インスタにとっても力を入れており、子どもたちが実際に活動している場면을親がライブ配信で見ることができたり、ストーリー機能でタイムリーな情報がすぐにわかるようになっている。それがとてもいいという話になり、参加者が増えているという話を聞いた。
- 委員～恵庭だけではなく、全国的にもインスタを活用した事例は増えている。北海道内では、恵庭や江別、富良野の子ども会がインスタを利用している。
- 委員～例えば、事業の様子を動画で作成して、募集のチラシにQRコードを掲載して見ることができるのでは。
- 委員～現状の職員数で、普段の業務もある中でそれをどのように捌いていくのかという問題もある。
- 委員～動画編集の講座を作って、その受講生に作ってもらうのはどうか。そうすれば一石二鳥ではないか。難しい部分も多くあるとは思いますが、面白いのではないか。
- 説明員～動画編集について、講座で実施できればいいのではないと思うが、実際のところパソコン講座で使用していたパソコンが現状では使用できない状況であるため、例えばスマホで簡単に動画を編集する方法や、インスタやユーチューブの機能を活用して編集する方法など、考えていければと思う。

(3) 令和8年度 八雲町社会教育課・熊石教育事務所所管事業計画について

○説明員から説明する。

◆質疑 特になし

(4) 令和8年度 八雲町社会教育委員各部会等活動計画について

○説明員から説明する。

◆質疑 特になし

(5) その他

○説明員から本日の会議における机上配布の冊子類について説明。

5 閉 会